



平成30年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成30年7月27日

上場会社名 ガンホー・オンライン・エンターテイメント株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 3765 URL <http://www.gungho.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長CEO (氏名) 森下 一喜  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役CFO財務経理本部長 (氏名) 坂井 一也 (TEL) 03-6895-1650  
 四半期報告書提出予定日 平成30年8月8日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年12月期第2四半期の連結業績(平成30年1月1日～平成30年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年12月期第2四半期	42,706	△13.1	12,232	△37.1	12,237	△36.8	7,601	△36.8
29年12月期第2四半期	49,156	△20.0	19,438	△27.1	19,349	△26.5	12,033	△28.4

(注) 包括利益 30年12月期第2四半期 7,689百万円(△37.6%) 29年12月期第2四半期 12,328百万円(△23.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年12月期第2四半期	10.69	10.65
29年12月期第2四半期	16.92	16.88

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年12月期第2四半期	81,386	68,217	79.4
29年12月期	78,070	62,412	76.0

(参考) 自己資本 30年12月期第2四半期 64,646百万円 29年12月期 59,335百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年12月期	—	0.00	—	3.00	3.00
30年12月期	—	0.00	—	—	—
30年12月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2. 平成30年7月27日開催の取締役会において、当第2四半期末の配当金を無配とすることを決議いたしました。  
 なお、当期末配当額につきましては未定であります。

3. 平成30年12月期の連結業績予想(平成30年1月1日～平成30年12月31日)

当社グループは、コンテンツ関連の新規性の高い事業を展開しており、短期的な事業環境の変化が激しいことなどから、業績の見通しにつきましては適正かつ合理的な数値の算出が困難であるため、四半期ごとに実施する決算業績及び事業の概況のタイムリーな開示に努め、通期の連結業績予想については開示しない方針です。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	30年12月期2Q	952,103,160株	29年12月期	952,103,160株
② 期末自己株式数	30年12月期2Q	240,883,438株	29年12月期	240,893,438株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	30年12月期2Q	711,217,678株	29年12月期2Q	711,174,722株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。
- ・当社は、以下のとおり投資家向け説明会を開催する予定です。この説明会で配布した資料については、開催後当社ホームページで掲載する予定です。
- ・平成30年7月27日（金）・・・・・・機関投資家・アナリスト向け決算説明会

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書（第2四半期連結累計期間）	5
四半期連結包括利益計算書（第2四半期連結累計期間）	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7
(重要な後発事象)	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

日本におけるゲーム市場は、モバイルゲーム市場の緩やかな拡大と好調な家庭用ゲーム市場の成長に支えられ、平成29年は前年比13.7%増加し1兆5,686億円<sup>※1</sup>となりました。

一方、世界におけるゲームコンテンツ市場もスマートフォンの普及拡大に伴うモバイルゲーム市場の成長と家庭用ゲーム機的好調な販売によりパッケージゲーム市場も拡大したことから、平成29年は前年比21.1%増加し10兆8,964億円<sup>※1</sup>となりました。

当第2四半期連結累計期間における当社グループの売上高は、主に主力ゲームである「パズル&ドラゴンズ（以下「パズドラ」）」の売上高が減少したことから、対前年度比で減収となりました。このような状況の中、当社では既存ゲームのMAU（Monthly Active User：月に1回以上ゲームにログインしている利用者）の維持・拡大、「新規価値の創造」に向けたグローバル配信前提のゲーム開発及びパートナー・パブリッシング事業に注力してまいりました。

既存ゲームにつきましては、「パズドラ」は引き続き長期的にお楽しみいただくことを主眼に、新ダンジョン等の追加やゲーム内容の改善、他社有名キャラクターとのコラボレーションなど、継続的にアップデート及びイベントを実施してまいりました。平成30年5月27日には幕張メッセで「パズドラ」シリーズのeスポーツ<sup>※2</sup>イベントを中心とした「ガンホーフェスティバル2018」を開催し、ゲーム内でもユーザーの皆様にお楽しみいただけるイベントを実施いたしました。

新規タイトルにつきましては、平成30年6月27日に株式会社レベルファイブと共同開発したスマートフォン向け妖怪探索位置ゲーム「妖怪ウォッチ ワールド」の配信を開始し、平成30年7月11日には100万ダウンロードを突破する好調な立ち上がりとなりました。本作は平成30年7月よりテレビCMを開始すると共に位置情報を活用した異業種とのコラボレーションも行っております。平成30年4月10日には、スマートフォン向け本格対戦型カードゲーム「クロノマギア」のサービスを、日本・アメリカ・カナダ・オーストラリアで同時に開始いたしました。また、平成30年6月にアメリカで開催されたコンピューターゲームの見本市「E3 2018」において、新規タイトルであるNintendo Switch<sup>™</sup>向けゲーム「Ninjala」、スマートフォン向けゲーム「Call of Guardians」、Nintendo Switch<sup>™</sup>及びスマートフォン向けゲーム「GALAK-Z」の3タイトルを発表いたしました。「GALAK-Z」につきましてはスマートフォン向けのサービスを北米・欧州にて平成30年7月11日より開始し、Nintendo Switch<sup>™</sup>向けのサービスを北米・欧州にて7月12日より開始しております。

連結子会社のGRAVITY Co., Ltd. につきましては、アジア地域で展開しているスマートフォン向けゲーム「Ragnarok M」が好調に推移しており、引き続き当社グループの業績に貢献しております。

この結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は42,706百万円（前年同期比13.1%減）、営業利益12,232百万円（前年同期比37.1%減）、経常利益12,237百万円（前年同期比36.8%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益7,601百万円（前年同期比36.8%減）となりました。

なお、当社グループは単一セグメントであるため、セグメント情報に関連付けて記載しておりません。

※1：ファミ通ゲーム白書2018

※2：eスポーツ：「エレクトロニック・スポーツ」の略で、コンピューターゲーム・ビデオゲームを使った対戦をスポーツ競技として捉える際の名称。

### (2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間における資産合計は、81,386百万円（前連結会計年度末比3,316百万円増加）となりました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上に伴い現金及び預金が増加したことによります。

負債合計は、13,169百万円（前連結会計年度末比2,489百万円減少）となりました。これは主に、買掛金及び未払法人税等が減少したことによります。

純資産合計は、68,217百万円（前連結会計年度末比5,805百万円増加）となりました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上に伴い利益剰余金が増加したことによります。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社グループは、コンテンツ関連の新規性の高い事業を展開しており、短期的な事業環境の変化が激しいことから、業績の見通しにつきましては適正かつ合理的な数値の算出が困難であるため、四半期ごとに実施する決算業績及び事業の概況のタイムリーな開示に努め、通期の連結業績予想については開示しない方針です。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成30年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	56,031	62,088
売掛金	10,694	8,439
有価証券	1,949	1,585
商品	4	2
仕掛品	174	331
繰延税金資産	233	196
その他	1,852	1,428
貸倒引当金	△26	△8
流動資産合計	70,913	74,065
固定資産		
有形固定資産合計	522	475
無形固定資産		
ソフトウェア	307	668
ソフトウェア仮勘定	1,112	1,077
その他	221	110
無形固定資産合計	1,642	1,856
投資その他の資産		
投資有価証券	481	73
繰延税金資産	1,691	1,735
その他	2,945	3,299
貸倒引当金	△126	△118
投資その他の資産合計	4,991	4,989
固定資産合計	7,157	7,321
資産合計	78,070	81,386

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成30年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	4,230	2,554
短期借入金	200	—
1年内返済予定の長期借入金	146	145
未払法人税等	4,707	3,792
賞与引当金	6	7
その他	4,805	5,319
流動負債合計	14,097	11,820
固定負債		
長期借入金	154	130
その他	1,406	1,218
固定負債合計	1,560	1,348
負債合計	15,658	13,169
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	5,338	5,338
資本剰余金	5,474	5,475
利益剰余金	128,609	134,077
自己株式	△80,118	△80,115
株主資本合計	59,303	64,775
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	32	△129
その他の包括利益累計額合計	32	△129
新株予約権	727	864
非支配株主持分	2,348	2,706
純資産合計	62,412	68,217
負債純資産合計	78,070	81,386

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年1月1日 至平成30年6月30日)
売上高	49,156	42,706
売上原価	17,772	18,894
売上総利益	31,384	23,811
販売費及び一般管理費	11,945	11,579
営業利益	19,438	12,232
営業外収益		
受取利息	27	40
その他	23	6
営業外収益合計	51	47
営業外費用		
支払利息	9	3
為替差損	122	36
その他	8	2
営業外費用合計	140	41
経常利益	19,349	12,237
特別損失		
減損損失	1,385	364
投資有価証券評価損	—	31
特別損失合計	1,385	396
税金等調整前四半期純利益	17,963	11,841
法人税、住民税及び事業税	5,921	3,875
法人税等調整額	△171	△25
法人税等合計	5,750	3,849
四半期純利益	12,213	7,991
非支配株主に帰属する四半期純利益	179	390
親会社株主に帰属する四半期純利益	12,033	7,601

四半期連結包括利益計算書  
 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年1月1日 至平成30年6月30日)
四半期純利益	12,213	7,991
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	115	△302
その他の包括利益合計	115	△302
四半期包括利益	12,328	7,689
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	12,128	7,439
非支配株主に係る四半期包括利益	199	250

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社グループは単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。